



医療法人博仁会
志村大宮病院

本日のご説明内容

法人概要

法人理念・病院理念・看護部理念

病棟説明

5年間研修修了後

～スペシャリスト・ジェネラリストコース～



法人概要

経営理念・目標

経営理念

私たちは、お客様が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていただくために必要な保健・医療福祉の総合的なサービスの提供に努めます。

経営目標

私たちは、県央・県北西部のリハビリセンターと高齢者・障害者総合ケアシステムの確立を実現します。

組織の4つの柱



SFG (1951年設立) (志村フロイデグループ)

2025年4月1日現在

職員数合計
1,349名



医療法人 博仁会

1951年10月志村大宮病院開設

1957年10月法人化

拠点・事業所数：14 職員数：1,017名



社会福祉法人 博友会

2000年10月 法人設立

拠点・事業所数：8 職員：289名



学校法人 茨城北西看護専門学校

2010年3月 法人設立

拠点・事業所数：1 職員数：17名



有限会社 いばらき総合介護サービス

2002年9月 法人設立

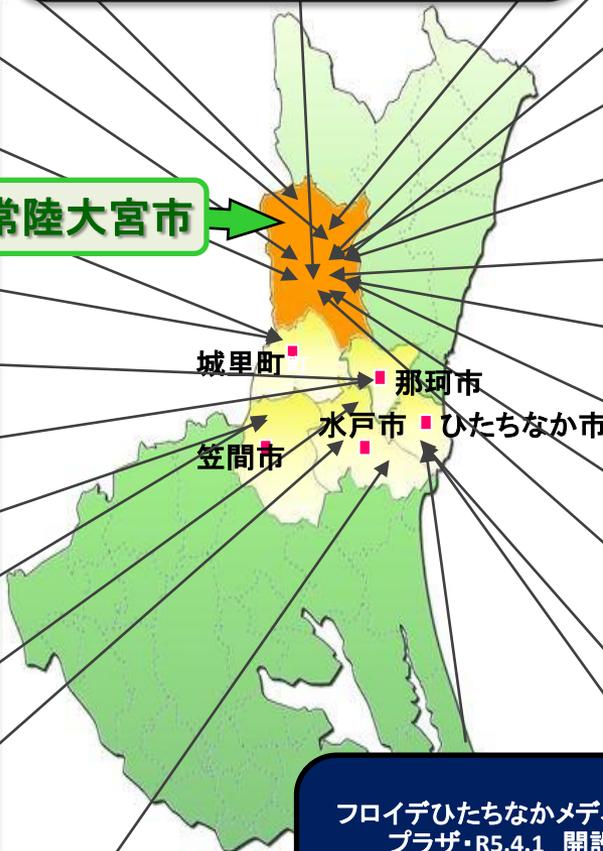
拠点・事業所数：4 職員数：26名

志村フロイデグループの紹介

(2025年4月1日現在)

志村大宮病院
 緩和ケア エーデルワイス病棟
 総合緩和ケアセンター
 茨城北西総合リハビリテーションセンター
 回復期リハビリ病棟 スイス館

常陸大宮市



フロイデ総合在宅
サポートセンター美和

フロイデ総合在宅
サポートセンター山方

介護老人福祉施設
御前山フロイデガルテン

グループホーム桂

フロイデ総合在宅
サポートセンター城里

就労移行支援
就労継続支援B型
フロイデ工房

就労継続支援B型
フロイデ工房なか

児童発達支援
ロッティなか

フロイデ総合在宅
サポートセンター友部

サービス付き高齢者向け住宅
フロイデアシストハウス友部

水戸メディカルプラザ

フロイデ総合在宅
サポートセンター水戸河和田

フロイデ総合在宅
サポートセンター緒川

介護老人保健施設
大宮フロイデハイム

常陸大宮市
南部地域包括支援センター

在宅介護支援センター
おおみや

認知症疾患医療センター

認知症対応型通所介護
志村デイサービスセンター

機能訓練センター
フリューゲル

フロイデ総合在宅
サポートセンター大宮

サービス付き高齢者向け住宅
フロイデアシストハウス大宮

地域密着型介護老人福祉施設
大宮フロイデドルフ

フロイデ総合在宅
サポートセンターひたちなか
グループホームひたちなか

ひたちなか市
北部包括支援センター

フロイデ総合在宅
サポートセンター水戸けやき台

フロイデひたちなかメディカル
プラザ・R5.4.1 開設

ウェルビーイングプレイス
ひたちなか・R7.4.1 開設

志村大宮病院



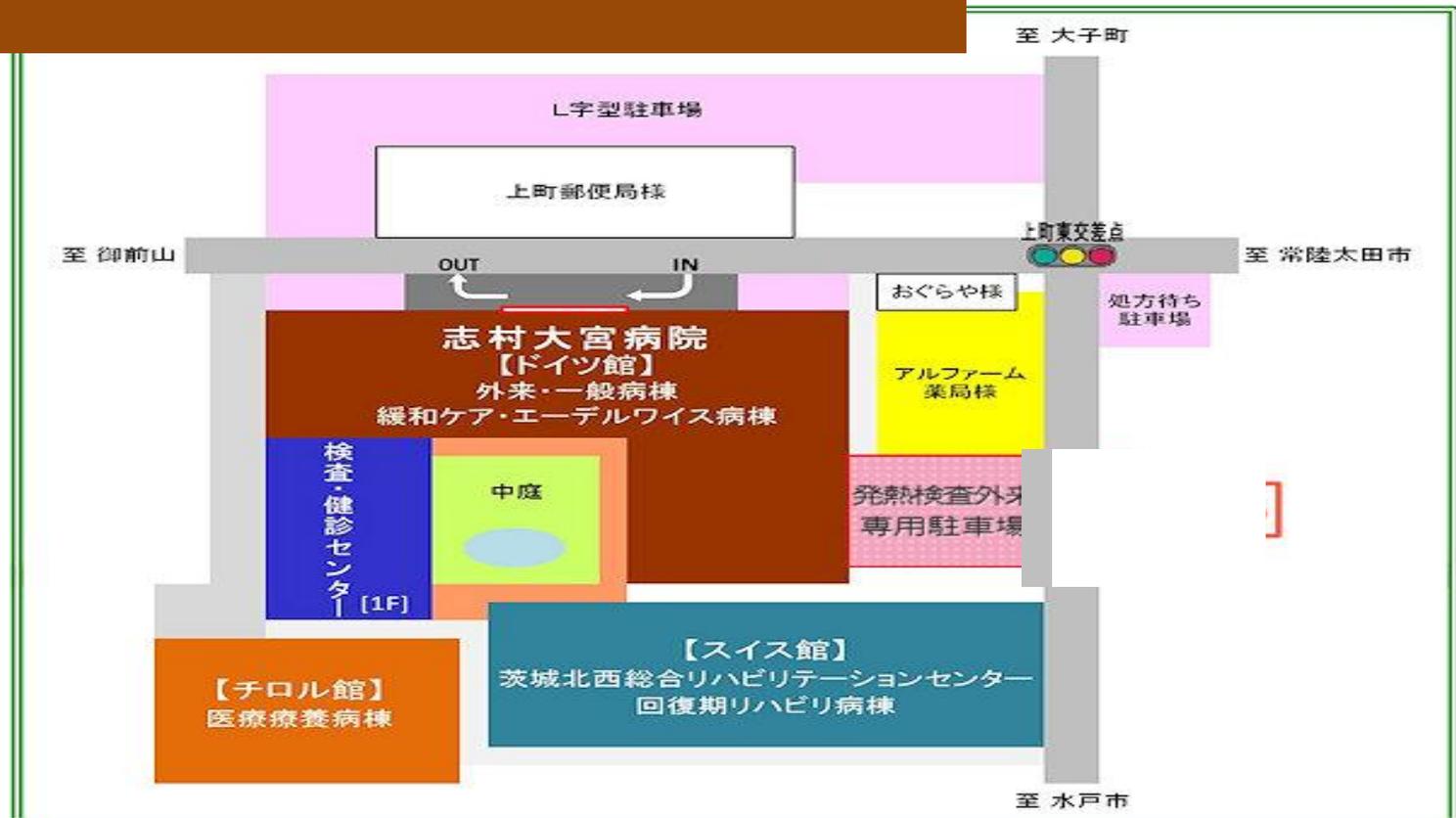
病院理念

私たちは、地域包括ケアを支える病院としてリハビリ・緩和ケア・認知症を中心にかかりつけ医機能と専門医療を提供するとともに、全世代・全対象型地域包括ケアを実現するためのまちづくりに貢献します。

基本方針

1. 患者様の権利、尊厳を尊重します。
2. 安全・安楽な医療提供に努めます。
3. 患者様のためのチーム医療と地域医療連携を推進します。
4. 職員の教育・研修を推進します。
5. 効率的で健全な病院経営に努めます。

医療法人博仁会 志村大宮病院



一般病棟	60床	地域包括医療病棟	26床	機能別+受け持ち制
		呼吸器センター		
		地域包括医療病棟 (混合病棟)	28床	
		地域包括ケア病床 (感染対応病床1床)	12床	
緩和ケア病棟		20床		モジュール
回復期リハビリ病棟		50床		モジュール
療養病棟		48床		機能別+受け持ち制
計		178床		



SFG看護グループ 病院・老健部門

SFG看護グループ理念

地域包括ケアを支える看護グループとして
患者様・ご利用者様の人権を尊重し、信頼される
看護を提供します。

基本方針

1. 医療・看護の変化に柔軟に対応し、根拠に基づいた質の高い看護を提供します。
2. 多職種を協働し、チームの一員として地域の方を支える責任を果たします。
3. おひとりおひとりの思いに寄り添い、意思決定を支援します。
4. 職員の学びを支援し、専門的知識・技術の向上に努めます。
5. 相互理解のもと、働きやすい職場づくりに努めます。
6. 組織の情報共有化に努め、健全な組織経営に参画します。

外来

診療科目

内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・神経内科・心療内科・小児科・皮膚科・放射線科・泌尿器科・婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・整形外科・リハビリテーション科・糖尿病外来
人間ドック・企業健診

特殊外来

禁煙外来・睡眠無呼吸外来・在宅酸素療法・呼吸器外来

外来は「適切な診療・治療」「疾患罹患時の速やかな連携」「在宅生活維持のための援助」など多様な役割を担います。患者様に「今」何が必要なのかを見極めつなげていきます。



一般病棟

地域包括医療病棟



地域包括医療病棟① 病棟のイメージ

背景

- 高齢者の人口増加に伴い、**高齢者の救急搬送者数が増加し**、中でも**軽症・中等症が増加**している。
- 急性期病棟に入院した高齢者の一部は、**急性期の治療を受けている間に離床が進まず、ADLが低下し、急性期から回復期に転院することになり、在宅復帰が遅くなるケース**があることが報告されている。
- 高齢者の入院患者においては、医療資源投入量の少ない傾向にある誤嚥性肺炎や尿路感染といった疾患が多い。
(高度急性期を担う病院とは医療資源投入量が**ミスマッチとなる可能性**)
- 誤嚥性肺炎患者に対し**早期にリハビリテーション**を実施することは、**死亡率の低下とADLの改善**につながることを示されている
- 入院時、高齢患者の一定割合が**低栄養リスク状態又は低栄養**である。また、**高齢入院患者の栄養状態不良と生命予後不良は関連**がみられる。

地域包括医療病棟における医療サービスのイメージ



救急患者を受け入れる体制を整備



一定の医療資源を投入し、急性期を速やかに離脱



早期の退院に向け、リハビリ、栄養管理等を提供



退院に向けた支援
適切な意思決定支援



早期の在宅復帰
在宅医療、介護との連携

10対1の看護配置に加えて、療法士、管理栄養士、看護補助者(介護福祉士含む)による高齢者医療に必要な多職種配置

包括的に提供

緩和ケアエーデルワイス病棟

【緩和ケア入院料1】

医師1名 看護師15名 看護補助職員1名

がん末期で全ての治療が済み、ご本人のご希望に添い
最後の時間をご家族と穏やかに過ごす看取りの病棟

がんの痛みのコントロールと患者様・ご家族様の
メンタルケアが中心の病棟

自宅退院希望の方は在宅生活支援のための法人サポート体制整備





- 脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対し、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟。
- 脳血管疾患、脊髄損傷等の発症後
- 大腿骨頸部、下肢又は骨盤等の骨折、手術後外科手術又は肺炎等により廃用症候群となり、手術後又は発症後リハビリが必要とされる方が入院。
(対象疾患80%以上)

療養病棟チロル館



- 慢性疾患を有し、**長期療養**が必要な方のための病棟。**病状は安定**していても**自宅での療養生活は難しい**という方が入所し、必要な医療、日常生活における介護、リハビリテーションなどを受けることが出来る。
- 人格を尊重し、その方の能力に応じたケアと長期に寝たきりの方にも楽しんで頂けるイベントに取り組んでいます。



介護老人保健施設 大宮フロイデハイム



- ケアを必要とする方に対して、生活リハビリテーションや看護介護サービスを提供。
- 心と体の自立を目指し、再び住み慣れた家庭で暮らせるよう、在宅復帰を支援。介護保険適用施設です。

●介護老人保健施設とは

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助。

また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援。

(全国老人保健施設協会)



看護師教育

新人看護職員研修スケジュール

医療法人博仁会 志村大宮病院 看護部



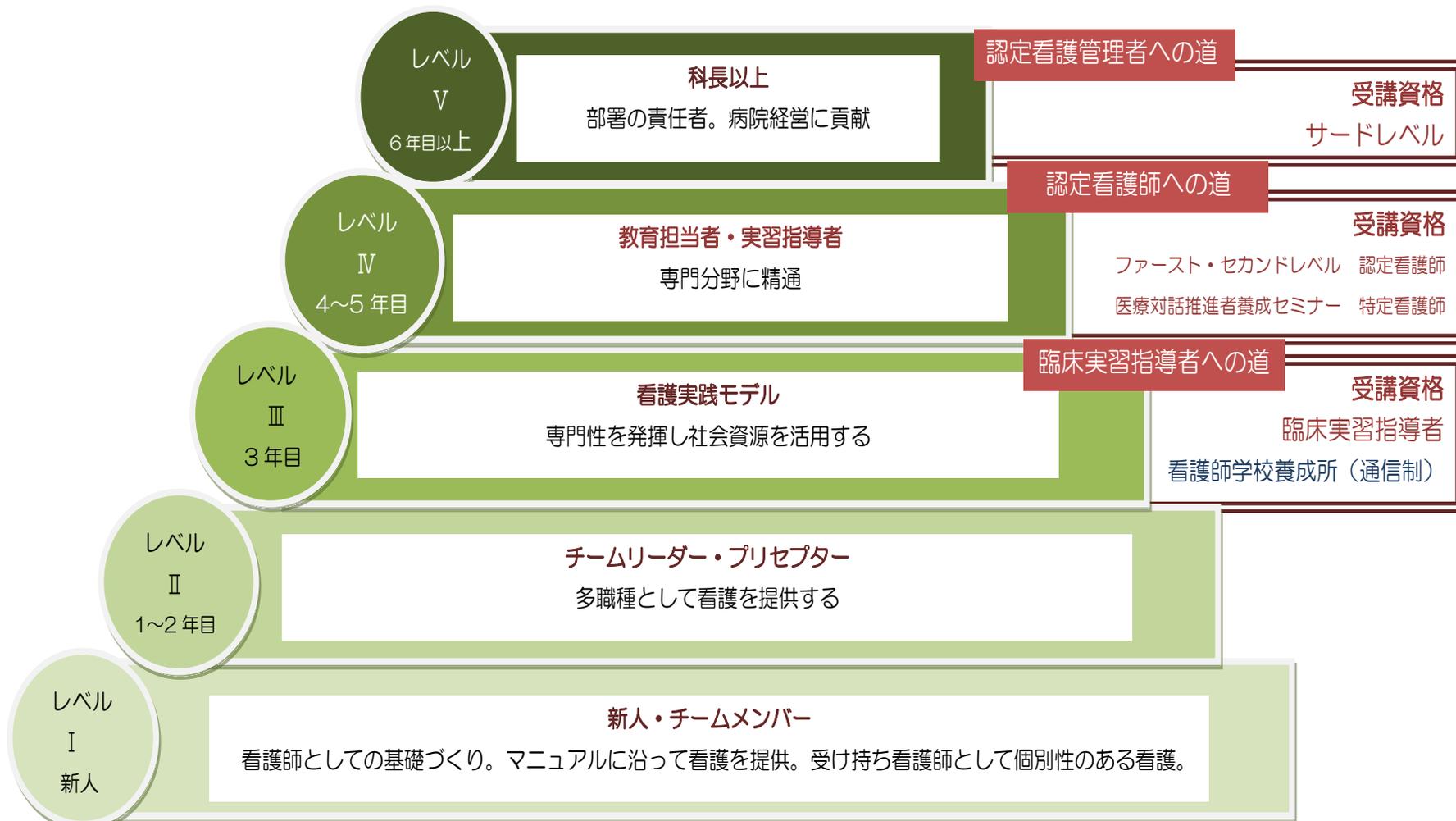
月/日	研修担当	講師	研修項目	研修内容	方法	時間	場所	備考
4/1 (木)	加藤(令)	高宮	オリエンテーション 看護職員としての 自覚と責任			～12:00	ショップ2F	
	加藤(令)	富山 長須	スタンダード プリコーション	手洗い・手指消毒・ 針刺し事故の対応		14:00～16:00	ショップ2F	
4/2 (金)	小林	千葉 大津	基本的技術	バイタルサイン、採血 血糖チェック、与薬説明		10:00～12:00	チロル食堂	
	小林	石井 楠見	基本的技術	輸液ポンプ、シリンジ ポンプの説明 中心静脈栄養について 胃管チューブ挿入 尿留置カテーテル管理 全身清拭 陰部洗浄		14:00～16:00	地域包括	
4/5 (月)	井上	川崎 雨谷 柏	基本的技術	吸引(口腔内・気管内) 酸素流量計 酸素ボンベの取り扱い 注射(静脈、筋肉、皮内)		10:00～12:00	チロル食堂	
	井上	香川 野内		口腔ケア 義歯取り扱い		14:00～16:00	ショップ2F	
4/6 (火)		井上	電子カルテ説明	基礎操作説明 記録方法(SOAP) 看護計画立案		10:00～13:00	地域包括	
		一般病棟看護師		看護必要度		14:00～16:00	地域包括	

【評価対象能力】

臨床実践能力：的確な判断、正確な知識・技術に基づいた看護実践の提供能力。基盤となる倫理と信頼関係を築けるコミュニケーション能力。

組織的役割遂行能力：チーム・所属・組織の中の役割を認識し、専門職として責任を果たすために安全性と経済性を考慮した職務遂行能力

自己教育・研修能力：継続学習による能力の維持・開発に努められるように自己教育力を身につけ、より質の高い看護の提供に向け研究的視点を持って取り組む能力





項目	実践(OJT)	自己	他者
身体面 (疾患・障害)	①身体面(疾患や障害)に関する情報収集方法について以下を実施する		
	・ケアの受け手の年齢や状況に応じ反応をみながら訴え・症状を確認する		
	・助言を受けながらフィジカルアセスメントを実施し報告する		
	・記録や報告・カンファレンスなどから既往歴・服薬内容・医療的処置・疾患や障害の状況の整理をする		
	②身体面について、観察やデータに基づき正常・異常の判断をする		
	・バイタルサインの観察と解釈		
	・身体計測		
	・検査データ		
	・心電図モニター・12誘導心電図の装着・管理		
身体面 (生活)	①身体面(生活)に関する情報収集方法について以下を実施する		
	・ケアの受け手の行動や言動、表情から、安全・安楽・安寧の状況について助言をえながらアセスメントする		
	・ケアの受け手の生活に関する基本的なニーズに関する情報を本人や他者から得る		
	・記録や報告・カンファレンスなどから基礎情報を得る		
	②助言を得ながら疾患や障害による日常生活上の留意点を挙げる		
	・環境		
	・食事		
	・排泄		
	・活動・休息		
	・清潔・衣生活援助		
精神面	③ケアの受け手を生活者として捉える視点に気づく		
	・コミュニケーション機能の把握		
	①精神面に関する情報収集方法について以下を実施する		

「認定指導看護師制度」修了後

スペシャリスト・ジェネラリストコース

「認定指導看護師制度（卒後看護師5ヵ年研修）」修了者 スペシャリストコース（専門分野資格取得研修制度）

目的

専門分野の看護を学び、法人医療ならびに看護師の資質向上に貢献する職員の育成

対象者

- ①原則として卒後5ヶ年研修を修了した者
- ②急性期の看護を学び、看護師の資質向上に役立てるという強い志を持つ者

方法

- 希望者は部門長を通し、看護部長に研修の意思を伝える
- 志望動機、研修に対する自己の展望をA4用紙1枚のレポートにまとめ提出（フォント、文字数は問わない）
- 看護部長または看護副部長が面接を行ない、意思の程度および将来性、発展性等を確認し可否を決定する。
- 本人のレポート、看護部長の推薦文を添え理事長に提出し可否判定を仰ぐ

*決定後は、看護部長および当該科科長、人事と詳細を検討し理事長へ報告、決裁を受ける

*ただし、この内容は随時変更、見直しを行う

認定看護師

認定看護師とは、**日本看護協会認定看護師認定審査**に合格し、ある**特定の看護分野**において、**熟練した看護技術と知識を有することが認められた者**をいいます。

役割

認定看護師は特定の看護分野において、以下の3つの役割を果たします。

- 1、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。（実践）
- 2、看護実践を通して看護職に対し指導を行う。（指導）
- 3、看護職に対しコンサルテーションを行う。（相談）

救急看護

皮膚・排泄ケア

集中ケア

緩和ケア

がん化学療法看

がん性疼痛看護
新生児集中ケア

訪問看護
透析看護

感染管理
手術看護

糖尿病看護
乳がん看護

不妊症看護
摂食・嚥下障害看

小児救急
法看護

認知症看護

脳卒中リハビリ看護

がん放射線療

慢性呼吸性疾患看護

慢性心不全看護 （2016年12月時点での認定看護分野）

- (1) 日本国の保健師、助産師及び看護師のいずれかの免許を有すること
- (2) 実務研修5年以上（うち3年以上は認定看護分野の実務研修）
- (3) 認定看護師教育課程修了（6か月・615時間以上）
- (4) 認定審査（筆記試験）
- (5) 認定看護師認定証 交付・登録（スペシャリストコース例）

専門看護師

専門看護師は、専門看護分野において以下の6つの役割を果たします。

- 1、個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。（実践）
- 2、看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。（相談）
- 3、必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々とのコーディネーションを行う。（調整）
- 4、個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。（倫理調整）
- 5、看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。（教育）
- 6、専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う。（研究）

がん看護 精神看護 地域看護 老人看護 小児看護 母性看護 家族支援
慢性疾患看護 急性・重症患者看護 感染症看護 在宅看護 災害看護 遺伝看護

・ **日本看護協会の専門看護師認定審査**に合格し、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に水準の高い看護ケアを効率よく提供するための**特定の専門看護分野の知識、技術を深めた看護師**

- (1) 日本国の保健師、助産師及び看護師のいずれかの免許を有すること
- (2) 看護系大学修士課程修了者で日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の
所定の単位（総計26単位）を取得していること
- (3) 実務研修が通算5年以上（そのうち3年間以上は専門看護分野の実務研修、このうちの6か月は
修士課程修了後の実務研修であること）
- (4) 認定審査（書類審査・筆記試験）
- (5) 専門看護師認定証 交付・登録 （スペシャリストコース例）

「認定指導看護師制度（卒後看護師5ヵ年研修）」修了者 スペシャリストコース（院外研修制度）

目的

急性期の看護を学び、法人医療ならびに看護師の資質向上に貢献する職員の育成

対象者

- ①原則として新人5ヶ年研修を修了した者
- ②急性期の看護を学び、看護師の資質向上に役立てるという強い志を持つ者

方法

- 希望者は部門長を通し、看護部長に研修の意思を伝える
- 志望動機、研修に対する自己の展望をA4用紙1枚のレポートにまとめ提出（フォント、文字数は問わない）
- 看護部長または看護副部長が面接を行ない、意思の程度および将来性、発展性等を確認し可否を決定する。
- 本人のレポート、看護部長の推薦文を添え理事長に提出し可否判定を仰ぐ

* 決定後は、看護部長および当該科科長、人事と詳細を検討し理事長へ報告、決裁を受ける

* ただし、この内容は随時変更、見直しを行う

特定行為とは・・・診療の補助

看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為です。

研修受講前



医師

Aさんを診察後、
脱水症状があれば連絡するよう
看護師に指示



看護師

Aさんを観察し、
脱水の可能性を
疑う



看護師

医師にAさんの
状態を報告



医師

医師から看護師
に点滴を実施す
るよう指示



看護師

点滴を実施



看護師

医師に結果を報告

研修受講後



医師

Aさんを診察後、手順書により脱水症状があれば点滴を実施するように看護師に指示



看護師

Aさんを観察し、
脱水の可能性を
疑う

手順書に示された
病状の範囲内

手順書によりタイムリーに
点滴を実施

医師に
結果を報告

病状の範囲外

医師に報告

フロイデひたちなかメディカルプラザ



有床診療所
看護小規模多機能型居宅介護
在宅サービス(訪問診療、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリテーション、定期巡回サービス)
居宅介護支援事業所・地域包括支援センター
メディカルフィットネス・地域交流スペース・学習室・研修室
高齢者の住まい・障害福祉サービス・保育所
(R7年開設予定)
通所介護・通所リハビリ・小規模多機能型居宅介護・認知症対応型通所介護・グループホーム

クリニック(無床)
看護小規模多機能型居宅介護
高齢者の住まい・サービス
通所リハビリ
在宅サービス
(訪問診療、訪問看護、
訪問介護、訪問リハビリ
テーション、定期巡回サービス)

フロイデ水戸メディカルプラザ



フロイデ水戸メディカルプラザ



フロイデ水戸メディカルプラザ 事業内容

■ 1階

- ・ 診療所
- ・ 通所リハビリテーション
- ・ 訪問看護
- ・ 訪問リハビリテーション
- ・ 訪問介護
- ・ 居宅介護支援
- ・ カフェ（就労継続支援A型）
- ・ 定期巡回随時対応型訪問介護看護

■ 2階

- ・ 看護小規模多機能型居宅介護
- ・ フィットネス（就労継続支援A型）

■ 3階

- ・ 住宅型有料老人ホーム20室
- ・ 地域交流スペース



病院 = 病気になってから来る場所

健院 = 健康な時から通って頂く場所





クリニック（待合室）



地域包括ケアセンター



通所リハビリ



カフェ・ミッテンヴァルト

フロイデひたちなかメディカルプラザ



みんなの内科・外科クリニック

入院治療のための一般病床19床と併設の介護施設に72室を有しており、幅広い疾患の患者様に、医療・介護・福祉の“シームレスな”トータルサポートを提供致します。“地域のかかりつけ医”として、地域の皆様の健康に貢献し、困っている患者様、ご家族様に寄り添えるクリニックを目指して参ります。



クリニック（病棟）

みんなの内科・外科クリニック

【診療科目】

内科・外科・胃腸内科・肝臓内科・呼吸器内科・循環器内科
整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・乳腺・甲状腺外科
肛門外科・皮膚科



クリニック(外来)

看護小規模多機能型居宅介護

看護と介護を一体的に提供するサービスです。

「訪問看護」と「小規模多機能型居宅介護」を組み合わせたサービスで、「通い」、「泊まり」、「訪問介護」、「訪問看護」サービスを提供します。



食堂・リビング



個室



機械浴室



メディカルフィットネス

B棟

- ◎就労支援A型・移行支援
- ◎コミュニティカフェ・売店
- ◎メディカルフィットネス
- ◎学習室



ガルミッシュ・パルテンキルヘン
(コミュニティ・カフェ)



福利厚生について

志村フロイデグループの福利厚生（2025年度版）



社会保険
(雇用・労災・厚生
年金・健康保険) ※1



通勤手当



職員表彰制度



昼食補助
※2



退職金制度



制服貸与



定住祝金
※3



育児介護支援



法人内託児所
(保育料無償化・自費負担あり)



家族手当



病院受診支援



健康診断



**予防接種
費用助成**



確定拠出年金



財形貯蓄制度
*4



学会研修支援

ありがとう!

**サンクスカード
制度**



資格取得支援
(ケアマネ10,000円等)



職員紹介制度



小集団交流支援



部活動支援



**法人忘年会
花見会**

- ※1 法定福利厚生費
- ※2 病院・事業所の食事に限る
- ※3 居住地の条件あり
- ※4 博仁会のみ



**SHIMURA FREUDE
GROUP**

院内保育所「フロイデキンダーガルテン」

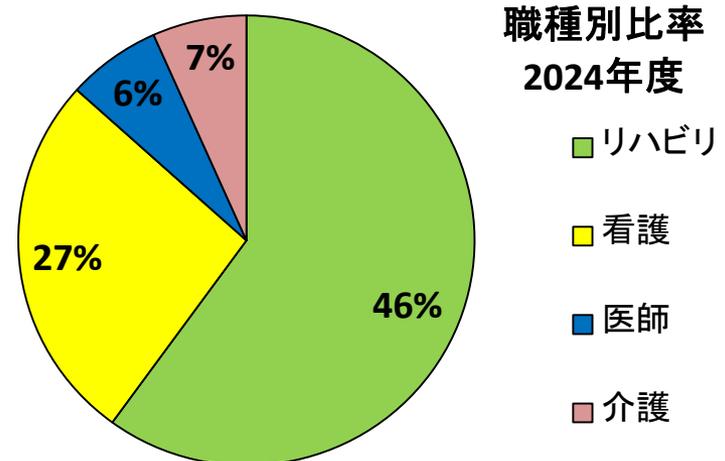
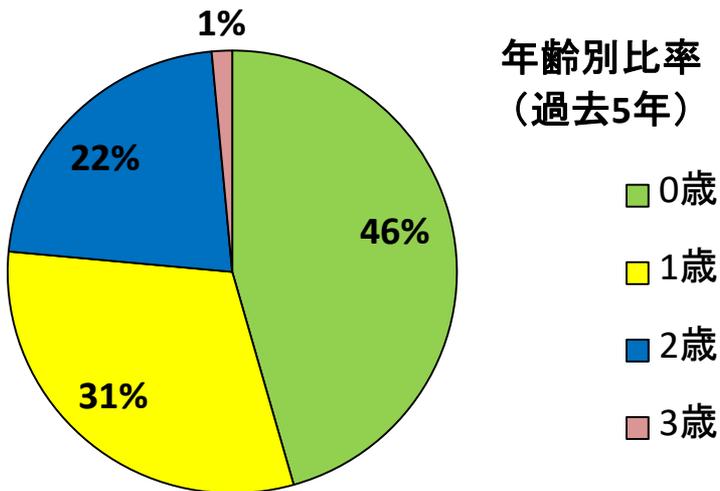


・保育士 6名在籍



利用状況推移(乳幼児年齢)

利用状況推移(保護者の職種)





厚生労働大臣認定 子育てサポート認定企業 (くるみんマーク認定:平成27年6月23日)

- 病院内保育所(フロイデキンダーガルテン)の運営
 - ・24時間・休日・学童・病児保育対応型保育施設
- 女性の継続就業に関する支援
 - ・育児休業取得率100% ・短時間勤務制度の導入
- ワークライフバランスを促進させる取り組み
 - ・1人あたりの残業時間の14.7%短縮
- くるみんマークの認定状況
 - ・全国2138の認定企業(医療機関は142機関)
 - ・茨城県では25企業(2番目の医療機関)
 - ・県北地域では初めての認定企業

お問い合わせ

応募要項・応募方法などご不明な点、病院・施設見学におきましても、下記連絡先へお気軽にお問い合わせください。

〒319-2261

茨城県常陸大宮市上町313

医療法人博仁会 人事課 採用担当

Tel: 0295-55-7722

ひとりひとりが将来をどう考えるか オールマイティーな看護師育成をめざします

